

# 東 奥 日 報

2021年(令和3年)4月21(水曜日) (16)

## 酒造りデザイン画に 八戸酒造の蔵で 八工大生作品展



八戸工業大学感性デザイン学部が、八戸酒造(八戸市)の酒造りから発想を得た学生のデザイン画の作品展を同社の蔵を会場に開催している。国の登録有形文化財に指定されている歴史的な建物内で、3、4年生6人のみならず感性の作品が並んでいる。22日まで。



八戸酒造北蔵2階の展示スペース。左は佐々木さん

同学部は地元企業や自治体の協力を得て、地域と社会における実践的なデザイン制作に取り組んでいる。2020年度は「土地のうつろい」をテーマに、八戸酒造でフィールドワークを行い、服飾からインテリアまで応用できるデザインへと展開させた。手描きとデジタル編集を駆使した作品に仕上がっている。

北蔵2階の広い空間

で、格子模様が特徴的な作品を展示している佐々木雄貴さん(3年)は「酒造りを四季とともに川の流れて表現した」と説明。アナログで描いた素材を一枚にまとめるカラーシユの技法を用いた相野翔有さん(3年)は「八戸酒造のプロモーション映像を参考に、日本酒を造る過程を四季ごとに表した」と意図を語った。

(三好陽介)

※「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」